

大きく変わる学校

宇都宮海星女子学院が共学化、校名変更

星の杜中学校



宇都宮海星女子学院中高は、1954 年に開校した、北関東唯一のカトリック・ミッションスクールです。いつの時代でも変わることのない価値観を学び、良き家庭人・良き社会人・良き国際人として、正しい価値判断ができる「高い教養と品格のある女性の育成」に努めています。2023 年度から、ブルームのタキソノミーをベースとした教育改革を行い、共学校の「星の杜中高」として新たにスタートすることになりました。2021・2022 年度は募集を休止した中学も再開し、中高一貫教育を実施します。

1. ブルームのタキソノミーをベースに

アメリカの教育学者、ベンジャミン・ブルームの研究チームが提唱した教育の分類学(タキソノミー)では、生徒たちは学びを通して 6 つのスキルを身に付けることが好ましいと説明しています。

- ①知識: 情報や概念を長期の記憶として自身に定着させる。
- ②理解: 情報や概念の意味が理解できて、自分の言葉で説明できる。
- ③応用: 情報や概念を具体的な状況で活用できる。
- ④分析: 情報や概念を細かく分解し、分解したもの同士の関係に着目したり、全体の中でのどのように関係しているかを明らかにする。
- ⑤評価: 生徒自身が身に付いたことの価値を判断できる。
- ⑥創造: 様々な情報・概念を組み合わせで新たなアイデアを生み出す。

今までの学校の授業は①～③に重点が置かれ、④～⑥は生徒の個人的努力に委ねられがちでした。代表的な事例が定期試験で、直前に詰め込み、終われば忘れる繰り返しでは、なかなか④～⑥のレベルには到達しません。それなら定期試験を廃止し、小テスト等での知識・技能の確認とフォローアップを行いつつ、定期試験に向けられていた生徒の力を④～⑥の力の育成に振り向けよう、というのが特色の一つです。

2. 星の杜教育の特徴

- ・探究学習 問題解決能力を身に付け、成果を内

外に発信できる実践力を養います。

- ・デジタルデザイン テクノロジーの活用と生徒の関心から仕事へのスキルを発見、身近な問題の解決から自己肯定感の育成につなげます。
- ・リベラルアーツ 様々な学問領域を自由に学び、総合力のある人間の育成を目指します。
- ・個別最適化 ICT や学習カウンセラーを活用、日々の学びだけでなく進路実現にもつなげます。
- ・グリーンスクール(バリ島)研修 課題解決型学習を通して起業家精神を学びます。

3. 6 年間の流れ

標準的な中学・高校の学習内容だけでなく、中学生は英語コミュニケーション能力、デジタル機器を使いこなす力、探究力の育成に重点を置きます。高2からグローバルラーニングコースとディープラーニングコースに分かれ、前者は全員在学中に3カ月～1年間の両学を実施、卒業後の進路も国内だけでなく海外大学もサポートします。後者は留学が希望制で、日々の学びでは探究力に磨きをかけ、自らの進路を開拓、現在増えている総合型や学校推薦型選抜で、志望大学でのさらに深い学びにつなげていきます。

4. 2023 年度入試について

一般入試は11月20日、2科と面接、総合型入試は11月20日と12月17日の2回で、PBL入試(グループワーク)、英語表現入試(英語面接)、プレゼンテーション入試・自己アピール入試(各プレゼンテーション)を実施します。